

資料5 蔵書の基準冊数等

1993年3月 全国学校図書館協議会制定

1 蔵書の最低基準冊数

(1) 小学校

1学級	2400
2学級	3000
3～6学級	$3000 + 520 \times (\text{学級数} - 2)$
7～12学級	$5080 + 480 \times (\text{学級数} - 6)$
13～18学級	$7960 + 400 \times (\text{学級数} - 12)$
19～30学級	$10360 + 200 \times (\text{学級数} - 18)$
31学級以上	$12760 + 120 \times (\text{学級数} - 10)$

* 18学級・・・10360冊

(2) 中学校

1～2学級	4800
3～6学級	$4800 + 640 \times (\text{学級数} - 2)$
7～12学級	$7360 + 560 \times (\text{学級数} - 6)$
13～18学級	$10720 + 480 \times (\text{学級数} - 12)$
19～30学級	$13600 + 320 \times (\text{学級数} - 18)$
31学級以上	$17440 + 160 \times (\text{学級数} - 30)$

* 15学級・・・12160冊

2 蔵書の配分比率

(1) 標準配分比率 (%)

分類 校種	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 言語	9 文学	合計
小学校	6	2	18	9	15	6	5	9	4	26	100%
中学校	6	3	17	10	15	6	5	8	5	25	100%

(2) 配分比率の運用

上表を基準に、学校の教育課程や地域の実情を考慮して運用します。

絵本やまんがは、主題をもとに分類するとよいでしょう。